

研究発表会開催通知

(昭和60年8月15日～9月30日)

研究会	日	時	会場	備考
オペレーティング・システム	9月13日(金)	10:30～16:30	機械振興会館	下記参照
記号処理	9月13日(金)	13:30～17:00	東大	同上
自然言語処理	9月13日(金)	13:30～17:00	東北大	同上
設計自動化	9月17日(火)	10:00～16:00	機械振興会館	同上
情報システム	9月17日(火)	13:30～17:00	同上	同上
マルチメディア通信と分散処理	9月19日(木)	13:15～17:00	同上	同上
データベース・システム	9月20日(金)	13:30～17:00	同上	同上
知識工学と人工知能	9月24日(火) 9月25日(水)	13:30～17:00 10:00～17:00	同上	同上
コンピュータビジョン	9月25日(水)	10:30～17:30	電総研	同上
日本語文書処理	9月25日(水)	13:30～17:00	機械振興会館	同上
プログラミング言語	9月27日(金)	14:00～17:00	慶大	同上

◆ 第28回 オペレーティング・システム研究会 (発表件数：5件)

(主査：益田隆司，幹事：紀一誠，鈴木則久，関野陽)

日時 昭和60年9月13日(金) 午前10時半～午後4時半

会場 機械振興会館 地下3階1号室

[東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄：日比谷線神谷町，浅草線大門，三田線御成門下車，国電：浜松町下車，バス：渋谷～東京タワー線東京タワー，渋谷～東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車，Tel. 03 (434) 8211]

議題 (1) メインフレーム・WS 連携システムにおける制御構造

萩野和彦 (富士通)

[概要] メインフレームとWSとの連携システムを構築する上でベースとなるソフトウェアの制御構造について報告する。

(2) マイクロ・メインフレーム結合OAシステム用の知的簡易言語

中村 昂 (日立)

[概要] パブリック処理とパーソナル処理の統合，トリガルール定義，WS連携等を行う簡易言語方式。

(3) 図形処理システムにおける機能分散方式について

市河研一 (NTT 横須賀通研)

[概要] 多量の図形データ(図面)を管理するシステムにおいて，データの一元管理はホストで，図形の参照・更新に伴う処理はワークステーションで行う機能分散方式について述べる。

(4) 分散オフィスシステムにおけるプロセス管理

山崎幸雄, 熊野喜一, 筒井健作, 石井美恵 (日電)

〔概要〕 分散構成のオフィスシステムにおけるプロセス間通信のためのプロセス管理方式について述べる。

(5) オフコン/分散プロセッサとワークステーションの機能分散

棚橋賢一 (東芝)

〔概要〕 ワークステーションの処理能力に応じた, 各種の機能分散方式やインタフェースについて特徴を述べる。

◆ 第 35 回 記号処理研究会

(発表件数: 4 件)

(主査: 和田英一, 幹事: 奥乃 博, 寺島元章, 元吉文男)

日 時 昭和 60 年 9 月 13 日 (金) 午後 1 時半~5 時

会 場 東京大学大型計算機センター 講習室

〔文京区弥生 2-11-16, 地下鉄: 千代田線根津駅下車, 徒歩 7 分

Tel. 03 (812) 2111〕

議 題 (1) 計算機室レイアウトエキスパートシステム

渡辺俊典, 安信千津子, 永井義明, 佐々木浩二, 山中止志郎 (日立・シ研)

〔概要〕 計算機室内に機器を自動レイアウトするエキスパートシステムを UTILISP を利用して実現し, 実用化した。

(2) 機械翻訳用ソフトウェア GRADE における UtiLisp の改良と問題点

中村順一, 辻井潤一, 長尾 真 (京大・工)

〔概要〕 機械翻訳システムの開発に UtiLisp を使用した経験と ZetaLisp に移植した際の問題点を述べる。

(3) UtiLisp を用いた階層データ入出力プログラム 長田弘康 (鉄研)

〔概要〕 階層的なデータ構造に関する情報を与えると, プロンプトなどを生成し入出力できるプログラムについて述べる。

(4) 第 3 回 Lisp コンテストおよび第 1 回 Prolog コンテスト報告

奥乃 博 (NTT 武蔵野通研)

〔概要〕 第 3 回 Lisp コンテストと第 1 回 Prolog コンテストの報告を行う。

◆ 第 51 回 自然言語処理研究会

(発表件数: 5 件)

(主査: 吉田 将, 幹事: 榊 博史, 首藤公昭, 野村浩郷)

日 時 昭和 60 年 9 月 13 日 (金) 午後 1 時半~5 時

会 場 東北大学工学部 電子情報系 101 講義室

〔仙台市荒巻字青葉, 国鉄: 仙台駅下車, バス: 工学部行 (駅前青葉通り日立ショールーム前より乗車) 約 15~20 分, Tel. 0222 (22) 1800〕

議 題 (1) 自然言語および図形理解のための形容動詞の概念の分析——2 字漢語

岡田直之, 濱島真人 (大分大・工)

〔概要〕 機械処理を目的として属性概念の分類を進めているが, 本稿では 2 字漢語で表される形容動詞の概念について述べる。

(2) 新聞記事データを対象とする分かち書き処理とそれに基づく語彙調査

亀田弘之 (東大・工)

〔概要〕 新聞記事データの自動単位切りとその評価、および単位切り処理結果に基づく KWIC・漢字 KLIC・簡単な語彙統計につき報告する。

(3) 実データからの言語知識の自動抽出と活用 浜田朋之(早大・理工)

〔概要〕 実際の言語活動の中から構文解析に必要な言語知識を自動抽出し、構文解析に活用する方法について述べる。

(4) 日本語の規格化一係り受け関係の規格化とそれへの変換ルール

吉田 将, 松山晶子(九大・工)

〔概要〕 係り受け・並列関係にあいまいさが生じないような日本語文法の提案とそれへの変換ルールを求めた。

(5) 翻訳実験のためのインタラクティブな支援環境

小暮 潔, 野村浩郷(NTT 武蔵野通研)

〔概要〕 機械翻訳などの実験をインタラクティブに行うための Lisp マシン上での実験システムについて述べる。

◆ 第28回 設計自動化研究会

(発表件数: 5件)

(主査: 村井真一, 幹事: 池本康博, 向殿政男, 吉田憲司)

日時 昭和60年9月17日(火) 午前10時~午後4時

会場 機械振興会館 地下3階1号室(所在地は前記参照)

議題 (1) 論理合成環境 高木 茂(NTT 武蔵野通研)

〔概要〕 機能ブロック論理自動合成手法, 論理式の変換, 最小化, 因子化等のさまざまなプログラムよりなる, 総合的な論理合成環境を提案する。

(2) インタラクティブ DRC (設計規則チェック) の一手法 鈴木五郎(日立)

〔概要〕 オンライン実装設計に適した高速 DRC 実現法の一つを提案する。

(3) 並列制御論理の合成 大平 駿, 伊藤 誠(山梨大・工)

〔概要〕 並列制御論理をフロー図面で入力し, それから制御論理を自動合成する。

(4) 論理型言語による論理設計支援システム

林 一司, 丸山文宏, 真野民男, 角田多苗子(富士通)

〔概要〕 PROLOG を用いて, アルゴリズムレベルからセルレベルまでの論理設計支援システムを開発したので報告する。

(5) 第22回 Design Automation Conference 報告 小田原豪太郎(東大・工)

〔概要〕 本年6月24~26日で Las Vegas 開催された DAC について報告を行う。

* 今回は, 電子通信学会電子計算機研究会と共催で開催します。上記の会告は, 6月末現在の申込みによるもので, プログラムは暫定的なものです。上記期日以降の申込分を含めた最終的なプログラムは, 電子通信学会誌8月号に掲載されますので, ご了承下さい。

◆ 第7回 情報システム研究会

(発表件数: 4件)

(主査: 浦 昭二, 幹事: 槻木公一, 柳原一夫, 山本毅雄)

日時 昭和60年9月17日(火) 午後1時半~5時

会場 機械振興会館 地下3階研修1号室(所在地は前記参照)

議題 (1) 事例研究 (INS 等) に基づく方法論の検討

伊吹公夫, 馬場康彦(NTT 横須賀通研)

〔概要〕 INS 等を事例に選び、通信を中心にした検討を通じて、情報システム構築の一般手法の抽出を試みた。

(2) 米国大学における事務部門の OA 化 古谷野英一 (青学大)

〔概要〕 1985 年 4 月 21 日より 5 月 5 日まで米国大学事務の OA 化調査のため 5 大学, 1 専門学校, 2 大学関係協会を訪問したので, その大要を報告し, 日米比較を考えてみたい。

(3) 変貌する米国の情報提供サービス 若尾暢宏 (市況情報センター)

〔概要〕 技術の進歩によりニーズは多様化し, 競争が一層激化する情報提供サービスの動向を概説する。

(4) パソコン通信と公開電子掲示板 “BBS” 山崎俊一 (山保学園)

〔概要〕 NTT 民営化とともに, 在来電話回線上でのパソコン通信, 個人レベルのデータ通信が急速な展開を見せている。その概況を実例に即し報告する。

(* 協力 ASCII-Network, JUG-BBS)

◆ 第 27 回 マルチメディア通信と分散処理研究会 (発表件数: 7 件)

(主査: 野口正一, 幹事: 河岡 司, 白鳥則郎)

日 時 昭和 60 年 9 月 19 日 (木) 午後 1 時 15 分 ~ 5 時

会 場 機械振興会館 地下 3 階 1 号室 (所在地は前記参照)

議 題 (1) マルチリンク手順におけるリセット手順の仕様の検証の検討

小林哲二 (NTT 横須賀通研)

〔概要〕 マルチリンク手順におけるリセット手順について, 仕様の検証 (正しさの証明) の検討結果を報告する。

(2) 複合文書処理における文書構造とプロトコル 柳建一郎 (東芝)

〔概要〕 文章・ジオメトリック・フォトグラフィックから構成される複合文書処理の文書構造とプロトコルについて検討する。

(3) TSS 端末からの国際テレックス利用システムの設計と開発

小畑征二郎, 根元義章 (東北大・大型計算機センター)

野口正一 (東北大・通研)

〔概要〕 大型計算機センターの TSS システムの利点を十分にいかした国際テレックス利用システムの設計と実現方式について述べる。

(4) LAN と従来通信との融合 宇野沢庸弘 (東芝)

〔概要〕 従来通信端末を LAN 上で実現することも重要になってきており, その統合的实现を紹介する。

(5) 通信制御アダプタの性能に関する一考察

松井 進, 横山達也, 柳生和男, 寺田松昭 (日立・シ研)

〔概要〕 通信制御アダプタについて, ①ハード構成と性能, ②伝送速度とフレーム長およびバッファ数の関係について考察する。

(6) スロットを用いた有限バッファループネットにおける棄却率上下限の解析

照屋 健 (琉球大), 白鳥則郎, 野口正一 (東北大・通研)

〔概要〕 有限のバッファサイズをもつスロットを用いたループネットにおけるパケットの棄却率の上限と下限を解析する。

- (7) 欧米における情報通信の技術動向 石坂充弘 (三菱電機)
〔概要〕 付加価値通信・ネットワークの高信頼化など多面的に展開されつつある最近の欧米における通信事情について述べる。

◆ 第49回 データベース・システム研究会 (発表件数：5件)
(主査：上林弥彦，幹事：石井義興，鈴木健司，三浦孝夫)

- 日時 昭和60年9月20日(金)午後1時半～5時
会場 機械振興会館 地下3階2号室(所在地は前記参照)
- 議題 (1) 地震データベース利用システムの SEIS 設計思想と利用者インタフェース
宮武 隆，瀬戸一，津村建四朗，宇津徳治 (東大・地震研)
〔概要〕 全国の微小地震のデータや，気象庁，米国地質調査所などの地震のデータのデータベースの検索，作図等が容易なシステムを開発したので報告する。
- (2) 地震データベース利用システム SEIS のシステム構成，性能評価と改良
瀬戸一，宮武 隆，吉田昌信，鷹野 澄 (東大・地震研)
〔概要〕 SEIS のシステム構成，性能評価，およびその改良結果等について述べる。また今後の課題についてもふれる。
- (3) Prolog による知識データベースシステム
松尾正信(住友電工)，Paul E. Eggert, Douglas Stott Parker, Jr. (Silogic Inc.)
〔概要〕 知識ベースとデータベースとを統合したシステムを提案する。Prolog は，本システムの開発ツールとして適切である。
- (4) 第4世代 NATURAL を用いたプロトタイピング用インタフェースについて
末舛史郎，嶋田正裕，石坂 崇，石井義興 (ソフトウェア・エージー)
〔概要〕 ADABAS 用の会話型プログラミング言語 NATURAL を用いて，システム開発手法としてのプロトタイピング法の実例を紹介する。
- (5) データベース性能診断システム
馬場正和，中野勝之，池田幸雄 (NTT 横須賀通研)
〔概要〕 設計専門化のノウハウを知識ベース化し，スキーマの性能劣化要因を検出し，改善策を提示するシステムについて報告する。

◆ 第42回 知識工学と人工知能研究会 (発表件数：11件)
(主査：志村正道，幹事：石塚 満，米澤明憲)

- 日時 昭和60年9月24日(火)午後1時半～5時
9月25日(水)午前10時～午後5時
会場 機械振興会館 地下3階研修1号室(所在地は前記参照)
- 議題 (1) 英文クロスワード・パズルを解くエキスパートシステムについて
一知識の表現と探索についての検討
谷田拓男 (成蹊大)，宮本聖也 (大和証券)，飯塚 肇 (成蹊大)
〔概要〕 EASY レベルの英文クロスワード・パズルを対象にして，ヒントから答を得る部分を中心に検討する。
- (2) 関係データベースエンジンのハードウェア構成とその制御方式
安部公朗 (ICOT)，酒井 浩 (東芝総研)

- 〔概要〕 関係データベースマシン“Delta”のユニットの一つである関係データベースエンジンのハードウェア構成とその制御方式について述べる。
- (3) 多層論理のモデル理論と証明理論 山内平行, 大須賀節雄(東大・工)
- 〔概要〕 知識ベースシステム KAUS の基礎となっている多層論理について理論的検討・定式化を行った。
- (4) 知識の需給と生成に関する基礎的問題—医学知識の領域から—
倉科周介, 灘岡陽子, 神沼二真(臨床研)
- 〔概要〕 医学研究が生産する医学知識と臨床医が求める知識需要の隔たりの実態を報告し, あわせてその解決策を提案する。
- (5) 拘束条件の局所性に基づいた整合ラベリング・アルゴリズム
塩澤恒道, 西原清一, 池田克夫(筑波大・電子・情報)
- 〔概要〕 整合ラベリング問題における拘束条件の構造を考慮した解の探索アルゴリズムについて発表する。
- (6) T述語を用いたホーン節による領域限定推論
西原典孝, 森田憲一(阪大・基礎工)
- 〔概要〕 対象領域のみを閉世界的立場で扱う領域限定推論を, T述語を用いてホーン節の枠組みで与えた。
- (7) フレームモデルに基づく知識ベースシステム 木下哲男(沖電気)
- 〔概要〕 フレームの概念を用いた知識ベースシステムの知識表現, 推論方式等について応用例を用いて紹介する。
- (8) マイコンネットワークを用いた分散型問題解決システム
北村泰彦, 小川 均, 田村進一(阪大・基礎工)
- 〔概要〕 ルールベースシステムとマイコンネットワークによる分散型問題解決システムの実現手法について述べる。
- (9) 三次元領域情報の利用法 登尾啓史(阪大・基礎工)
- 〔概要〕 mover's problem で使う各種情報を高速にオクトツリから得るアルゴリズムの提案。オクトツリは三次元空間に存在する物体を表現する。
- (10) 知識型統合ソフトウェア VCAP: 内蔵知識の適用による異種統計パッケージの制御
松田孝子, 鈴木 篤, 田中信行(東北大・大型計算機センター)
- 〔概要〕 VCAP のシステム概要および知識適用による異種統計パッケージの制御カード自動生成について報告する。
- (11) ファジィ集合の概念を用いた日本語質問応答システムの試作
馬野元秀(阪大・大型計算機センター)
- 〔概要〕 「大きい」などのあいまいな概念を表わす単語を使って簡単な会話を行うことのできるシステムについて述べる。

◆ 第38回 コンピュータビジョン研究会

(発表件数: 7件)

(主査: 白井良明, 幹事: 木戸出正継, 松山隆司)

日 時 昭和60年9月25日(水) 午前10時半~午後5時半
会 場 電子技術総合研究所 C棟7F 中会議室

[茨城県新治郡桜村梅園 1-1-4, 国鉄:常盤線荒川沖駅下車(上野発:8:11, 8:18, 8:29, 8:46, 9:10) 関東鉄道バス(東口):筑波大中央行, 並木2丁目下車, 徒歩5分. Tel. 0298 (54) 5495]

議 題

- (1) ステレオ画像の輪郭線による対応 富田文明(電総研)
〔概要〕ステレオ画像中の物体の輪郭線を利用することにより, 高速で信頼性の高い対応結果が得られ, 隠れの検出ができる方法について述べる.
- (2) 3眼ステレオ視による位置決め改善とオクルージョン処理 渡辺正規, 大田友一, 池田克夫(筑波大・電子・情報)
〔概要〕2眼ステレオ視では原理時に困難な, エピポーラ線に平行なエッジの位置決めと, オクルージョン部分の処理を, 3眼ステレオ視により解決する方法について述べる.
- (3) コンピュータグラフィックス用画像データベースシステム 木泰治(松下電器), 河合利幸(阪大), 那須雅樹(日電)
河田 亨(シャープ), 白川 功, 大村皓一(阪大)
〔概要〕コンピュータグラフィックスのための, データだけでなく, 作業工程をも管理する画像データベースシステム.
- (4) 自由作画線図形の折線近似 井上 彰, 西川克彦, 岩田 清(富士通研)
〔概要〕複雑さに応じた階層的処理の導入により, 自由作画線図形を原面に忠実に折線近似できる方式について述べる.
- (5) 複数動物体の分離と動きの推定 山本正信(電総研)
〔概要〕実動画像から運動モデルに基づき, 複数個の動物体を分離し, 個々の動きを推定する.
- (6) 幾何モデル GEOMAP によるピンピッキングのための目 池内克史(電総研)
〔概要〕モデルベースにより認識手法をコントロールしながら, 距離分離口, 法線分布口, 濃淡分布口を多角的に処理し, 対象の位置姿勢を決定するピンピッキングのための目について述べる.
- (7) CVPR '85 参加報告 小沢慎治(慶大), 稲田清崇(住金中研)
川谷隆彦(NTT), 坂上勝彦(電総研), 鳥生 隆(富士通研)
〔概要〕1985年6月11日~13日サンフランシスコで行われた表記の会議について, 主な研究発表を概観し, 研究動向を探る.
- (8) 見学(視覚システム研究室および画像処理研究室)

◆ 第3回 日本語文書処理研究会

(発表件数:3件)

(主査:山田尚勇, 幹事:坂下善彦, 首藤正道)

日 時 昭和60年9月25日(水)午後1時半~5時
会 場 機械振興会館 地下3階9号室(所在地は前記参照)
議 題 (1) ローマ字入力方式のモードに関する検討

大野邦夫(NTT 横須賀通研)

〔概要〕ローマ字かな漢字変換による日本語入力方式を PREFIX (verb, object)

および POSTFIX (object, verb) 両者の方法について Key stroke level モデルを用いて比較した。

(2) 「維摩」システムにおける文書処理

諸橋正幸, 穂積元一, 吉永秀志 (日本 IBM)

〔概要〕 ワークステーション制御システム「維摩」によるマルチウィンドウを用いた mixed-object editor の構築について述べる。

(3) 文書構造と編集処理とに関する検討

坂下善彦, 土田泰治 (三菱電機)

〔概要〕 文字, 図形, イメージ等のミックスモードのテキストを編集処理するための文書構造および処理について述べる。

◆ 第2回 プログラミング言語研究会

(発表件数: 4件)

(主査: 島内剛一, 幹事: 石畑 清, 齊藤信男, 安村通晃)

日 時 昭和60年9月27日(金) 午後2時~5時

会 場 慶応大学日吉図書館 AV ホール (地下1階)

〔横浜市港北区日吉 3-14-1, 東横線: 日吉下車 (東口) 徒歩12分,
Tel. 044 (63) 1141〕

議 題 (1) 構造エディタとソースコード・インタプリタの統括的設計と実現法

佐藤 豊, 板野肯三 (筑波大・電子・情報)

〔概要〕 言語の構文・意味規則の統一的な記述に基づいて, 構造エディタとソースコード・インタプリタを一体化し系統的に実現する方式について述べる。

(2) 中間語としてオートマトンを用いるコンパイラとその生成

藤村啓二, 安在弘幸 (九工大・工)

〔概要〕 コンパイラにおける中間語として有限オートマトンを用いる一手法と, それに基づくコンパイラの生成。

(3) Ada パッケージのサブタイピングについての一考察

細川 馨 (日本 IBM)

〔概要〕 Ada には, パッケージ・サブタイピングの概念が導入されていない。これによって起こる問題および解決策について論じる。

(4) C の ANSI 規格案について

石畑 清 (東大・理)

〔概要〕 C の ANSI 規格化の作業が進行中である。この規格案の概要を紹介する。特に従来のCとの違いについて詳しく述べる。

◆ 自然言語処理研究会

第52回研究会を11月15日(金) 九大で開催いたします。

◆ ソフトウェア基礎論研究会

9月27日(金) に予定しておりました研究会は, 都合により10月4日(金) 京大に変更しました。

◆ ソフトウェア工学研究会

第44回研究会を10月2日(水) 午後1時半~5時 於機械振興会館で開催いたします。なお, 詳細は次号(9月号)に掲載いたします。

VLSI 技術に関する国際講演会開催について

1985年 VLSI 国際会議 (VLSI 85) の東京開催を機に、VLSI の設計ツールに関する講演会を下記の通り開催いたします。多数の方々のご参加をお願いいたします。

日 時 昭和 60 年 8 月 30 日 (金) 14:00~17:00
会 場 機械振興会館ホール (地下 2 階) (東京都港区芝公園 3-5-8, Tel. 03 (434) 8211)
共 催 電子通信学会東京支部, 応用物理学会

演題および講師

- (1) The Engineer as a Tool-BUILDER, Prof. C. Sequin (Univ. of California, Berkeley)
- (2) Influence of Design Tools in Future IC-Designs, Dr. E. Hoerbst (Siemens)

参加費 無料 (定員 150 名)。通訳なし。

問合せ先 情報処理学会講演会係 Tel. 03 (431) 2808

論文誌への論文投稿について (お願い)

情報処理学会論文誌への投稿は、これまでオリジナル原稿とコピー 1 部となっていました。最近投稿数が激増しましたので、査読を促進し、よりよくするために、従来の査読方法を昭和 60 年 6 月 1 日から改めました。これにともない、オリジナル原稿のほかにコピーは 2 部 (すべて B5 判, 図表を含む) となりましたので、今後投稿される会員は、ご注意ください。

なお、投稿の際には、とくに次のことにもご留意ください。

- (1) 著者名・所属および謝辞は標題や本文とは別の用紙を使うこと。
- (2) 英文アブストラクトには標題、著者名、所属を順に英文でつけること。
- (3) 共著の場合はそれぞれ会員、非会員の別を明記すること。
- (4) 書留郵便の場合にも確実に受領できる連絡先を明記のこと。

1986 年情報学シンポジウム開催について

標記シンポジウムを日本学術会議情報学研究連絡委員会と共催します。講演を募集しておりますので、奮ってご応募ください。なお、申し込み方法等については本誌 6 月号の「日本学術会議だより」欄を参照ください。

日 時 1986 年 1 月 8 日 (水), 9 日 (木) 9:30~17:00
場 所 日本学術会議講堂 (東京都港区六本木 7-22-34)
講演申込締切 9 月 21 日 (土)
講演要旨締切 11 月 20 日 (水) 必着

情報処理学会第 31 回 全国大会 (昭和 60 年後期) 参加について

25 周年記念特別講演会

- 日 時 昭和 60 年 9 月 9 日(月)
- 会 場 学習院記念会館(東京都豊島区目白 1-5-1, 国電目白駅下車, 正門入りすぐ右手)
- 参加費 無料(一般参加歓迎)
- プログラム 詳細は次ページに掲載してあります。
- 懇 親 会 9 月 9 日の夜, 学生食堂にて催されます。会費 2,000 円
参加希望者は, 受付にて当日受け付けます。

通常の全国大会 (一般講演セッション)

- 日 時 9 月 10 日(火)~12 日(木)
- 会 場 東京電機大学(東京都千代田区神田錦町 2-2)
- プログラム 詳細は本号黄色のページに掲載してあります。交通, 会場等はプログラム末尾の会場案内図を参照してください。

一般参加の方へ

1. 総 受 付 東京電機大学 7 号館 1 階ロビー
2. 参 加 費 会 員 1,000 円(賛助会員は 1 口 1 名として正会員に準じます。)
非会員 2,000 円(ただし電子通信学会会員は会員扱いとします。
会員番号を申し出てください)。
3. 論 文 集 定 価 6,000 円
(当日, 予約者以外にお頒けできるのは, 残部のある場合に限りです)。

◎参加される方は, 総受付にて参加費を納め, 参加章を受けとってください。参加章のない方は会場に入れません。

一般講演を行う方へ

1. 講演者は, 講演の始まる前に, 必ず各セッション会場前の講演者受付で, 出席の確認を受けてください。
2. 講演者は, おそくとも前の講演者の講演時間中には, 座長席の前に設けられた「講演者控」で待機するようにしてください。
3. 一般講演の時間は, 質疑を含めて, 15 分を原則とします(都合により 13 分のセッションもあります)。講演中でも時間がくれば打ち切ります。
4. 講演終了予定時刻の 5 分前および 3 分前に座長補佐がベルで合図します。
5. 講演の代読は認めません。
6. 説明用の掛図(3 枚以内)は, 各自で黒板に止めてください。

その他の一般注意

1. 食堂: 2 階, 休憩室: 8 階 7803 B 番教室と 8 階 7804 A 番教室。
2. 電話の呼び出しはいたしません(万一止むを得ない場合のみ, 伝言板に掲示)。Tel. 03 (295) 4381
3. 駐車場がないので, 自家用車による参加はできません。

創立 25 周年記念特別講演会プログラム

日 時 昭和 60 年 9 月 9 日(月) 9:30~17:45

会 場 学習院記念会館 (東京都豊島区目白)

参加費 無料 (一般開放)

講演次第

会長挨拶 (9:30~10:00)

会長 尾関 雅則

情報処理学会 25 周年に寄せて (10:00~10:15)

IFIP 会長 安藤 馨

招待講演 (1) (10:30~12:00)

Software Engineering—Looking into the Future Development of Software Engineering Technologies

Prof. Dines Bjorner (デンマーク工科大学)

招待講演 (2) (13:00~14:30)

The Role of Women in the Information Oriented Society

Dr. Karen A. Duncan (Health Information Systems)

特別講演 (14:35~15:35)

言語と多元情報—その研究と国際協力—

福村 晃夫 (名 大)

パネル討論 (15:45~17:45)

情報処理のこれから 25 年

(司会) 大野 豊 (京 大)

パネラ 木村 泉 (東工大), 辻井 潤一 (京 大), 国井 秀子 (リコー), ほか

懇 親 会 会費 2,000 円 18:00~ 学習院大学学生食堂

(学術奨励賞の表彰を席上で行います。受賞者は本会記事欄参照のこと。)

シンポジウムの論文募集について

下記シンポジウムがそれぞれ論文を募集中です。奮ってご応募ください。詳細については前号本欄を参照ください。なお、会場はいずれも機械振興会館大ホール (B2) です。

シンポジウム名	開催期日	論文または梗概締切り
アドバンスト・データベース・システム	60年12月10日(火), 11日(水)	8月30日(金)
VLSI CAD への知識工学の応用	61年1月28日(火)	9月20日(金)
コンピュータ・システム	60年12月17日(火), 18日(水)	9月21日(土)

昭和 60 年電気・情報関連学会連合大会案内

標記連合大会（旧電気四学会連合大会）は、昨年同様に特別講演、パネル討論およびシンポジウム講演により構成のうえ開催されます。

多数の会員諸氏が参加され、活発な質疑討論を通して、みよりの多い大会となるようご尽力、ご協力をお願いします。

期 日 昭和 60 年 9 月 13 日（金）～15 日（日）
会 場 東北工業大学（仙台市八木山香澄町 35-1）
特別講演 9 月 14 日（土）午後 1 時 30 分～4 時 55 分，1 号館 4 F 15 教室
○ハイビジョン（高品位テレビ）の動向と社会へのインパクト
NHK 放送技術研究所研究主幹 藤尾 孝氏
○日本の半導体工業の将来展望

東北大学電気通信研究所所長 西沢 潤一氏

シンポジウム、パネル討論 13 日午前・午後，14 日午前，15 日午前・午後（詳細は巻末大会日程表参照）
なお、講演は午前は 9 時，午後は 1 時 30 分より開始

大会参加費 会員 1,000 円，学生（大学院含）500 円，会員外 1,700 円
大会に参加される場合は、必ず参加費を納めて頂くことになっています。参加は当日も受け付けますが、下記の論文集と同時にご予約頂きますと、大会前に論文集と一緒に送ります。

懇親会 9 月 14 日（土）午後 6 時より，会場：ホテル仙台プラザ
会費：一般 4,000 円，学生 2,000 円

宿泊案内 巻末参照

論文集予約募集

講演論文集 B5 判オフセット印刷：8 月下旬出版予定，価格および内容細目は巻末参照。

予約申込締切 昭和 60 年 8 月 23 日（金）厳守（電話による予約は不可。又、この期日以後に注文書の到着したものは予約扱いとなりません）

申込先 ☎105 東京都港区芝公園 3-5-8，機械振興会館内 電子通信学会連合大会論文集予約係
☎ [03] 433-6691（代），[03] 434-8211 内 418

申込方法 (1) 「予約申込書」は適宜な用紙をご利用下さい。申込みに際しては、分冊の区別と部数をお忘れなくご記入下さい。但し、郵便振替の場合は通信欄が申込書になります。
(2) 論文集代，大会参加費はやむをえない場合を除き，必ず代金を添えてお申込み下さい。
(3) 学校・官庁で指定の見積書・納品書・請求書を必要とする方は申込みと同時に関係書類をお送り下さい。
(4) 大会参加者は，全員「参加章」を必要とします。
(5) 懇親会参加ご希望の方は，必ず代金を添えてお申込み下さい。

送金方法 現金書留，郵便振替（局所定の用紙を利用，東京 2-35300，電子通信学会宛），又，銀行振込は三菱銀行虎ノ門公務部（普 0000548），住友銀行（当 263046）・富士銀行（当 6251）・第一勧業銀行（当 105-595）の各虎ノ門支店に口座を開いております。

「グラフィクスインタフェースと標準化」講習会開催について

コンピュータグラフィクスの国際的な標準化動向や実現された標準システムの特徴等を専門家が解説し、さらに今後の方向や問題を議論し情報交換する機会を計画しました。多数の方々のご参加をお願いいたします。ただし、申込締切日をお守りください。

なお、参加申込書は前号本欄にありますのでご利用ください。

日 時 昭和60年9月17日(火) 9:00~17:00
場 所 機械振興会館大ホール(地下2階)
参加費 正会員 10,000 円, 非会員 15,000 円, 学生会員 5,000 円
(論文集のみ 2,500 円, 送料 300 円)
申込締切 昭和60年9月2日(定員 150 名になり次第締切ります)

プログラム

午前の部 司会 守屋 慎次(電機大)

- (1) グラフィクス標準体系の動向
——GKS-3D と IGES の動向を含む—— (9:00~10:25) 木村 文彦(東大)
- (2) PHIGS (10:30~11:30) 宇野 栄(日本IBM)
——昼食(11:30~12:30)——

午後の部 司会 中島 正之(東工大)

- (3) CGI と CGM (12:30~13:55) 川合 慧(東大)
- (4) GKS システム実現事例と特徴 (14:00~17:00) 座長 山川 修三(横須賀通研)
 - (4.1) 各テーマに関する講演(2時間)
 - ① 総論——山川 修三(横須賀通研)
GKS をインプリメントする際の諸問題の概説
 - ② 可搬性——大住 哲夫(ノバ グラフィクス ジャパン)
GKS ソフトウェアの構成法, デバイスドライバの設計等
各種手法
 - ③ 性能——中山 安一(三井造船)
システムの応答性能, メモリ量条件等をクリアするための要点
 - ④ 装置サポート——川谷 聡(セイコー電子工業)
高機能装置から低機能装置, 大型機からパソコンまでの
サポート法
 - ⑤ 応用——木下 仁(アステック)
CAD/CAM をはじめ知識処理等への応用法
 - ⑥ ユーザインタフェース——奥山純一郎(コンピューターサービス)
GKS の言語結合, 日本語など応用プログラムへのインタ
フェース
 - (4.2) 全体議論, 質疑応答, まとめ (50分間)

「知識情報処理」シンポジウム開催について

標記シンポジウムに、多数の方々のご応募を頂きました。論文審査の結果をふまえ、下記プログラムで開催いたしますので、多数の方々のご参加をお願いいたします。

日 時 昭和 60 年 9 月 26 日 (木), 27 日 (金) 9:00~17:00
場 所 日本学会会議講堂 (港区六本木)
参加費 正会員 6,000 円, 非会員 9,000 円, 学生会員 3,000 円
(論文集のみ 3,000 円, 送料 300 円)
懇親会 昭和 60 年 9 月 26 日 (木) 17:30~
健保会館大会議室 (B1) 会費 3,000 円 (参加希望者はそのむね申込書にご記入下さい)
申込締切 昭和 60 年 8 月 31 日 (土) (申込書は前号にあります)

シンポジウム プ ロ グ ラ ム

第 1 日 9 月 26 日 (木)

- 開会の辞 調査研究担当理事
- 基調講演 (9:45~11:00)
- 「情報工学における機能拡大の課題」 平山 博 (早大)
「機械の知能と適応力はどこまで進むか」 坂井 利之 (京大)
- テクニカル セッション I (11:15~12:30) 座長 堂下 修司 (京大)
- ・ 論理プログラミングと知識情報処理 國藤 進, 竹内 彰一, 北上 始, 宮地 泰造
大木 優, 武脇 俊晃, 古川 康一 (ICOT)
 - ・ 自然言語理解システム IMAGES-III 吉武 春光, 横田 将生, 田町 常夫 (九大)
 - ・ 述語を持たない論理体系 “Tuple Logic” とその知識表現への応用
中山 聡, 森田 憲一 (阪大)
- 昼食 (12:30~13:40)——
- テクニカル セッション II (13:40~15:20) 座長 諏訪 基 (電総研)
- ・ 論文探索のためのユーザモデル学習システム
堀 浩一, 戸田誠之助, 安永 尚志 (国文学研究資料館)
 - ・ 知識工学を応用した三次元自動ルーティング手法
小林 康弘, 和田 裕, 満田 透, 木口 高志 (日立)
 - ・ 知識を用いた仕様記述からのプラン抽出とその自然言語プログラミングへの応用
藤井 邦和, 上原 邦昭, 豊田 順一 (阪大)
 - ・ 定性的推論におけるあいまい性と不連続性の取り扱いについて
西田 豊明, 川村 正, 堂下 修司 (京大)
- 休憩 (15:20~15:35)——
- テクニカル セッション III (15:35~16:50) 座長 石塚 満 (東大)
- ・ 電気ドリル分解・組立てコンサルタント・システムの作成
山田 誠二, 安部 憲広, 辻 三郎 (阪大)
 - ・ 大形直流電動機の故障診断知識の分析とその結果に基づく診断システムの開発
川北 茂, 森田 登 (東芝)
 - ・ フレームシステムにおける継承機能の拡張
菅原 俊治 (武蔵野通研)

第 2 日 9 月 27 日 (金)

特別講演 (9:30~11:30) 司会 野口 正一 (東北大)

「高度計算機ソフトウェア」

大野 豊 (京大)

「次世代コンピュータのアーキテクチャ」

相磯 秀夫 (慶大)

「題未定」

Randy Goeble (Waterloo 大学) (予定)

——昼食 (11:30~12:30)——

テクニカル セッション IV (12:30~14:10)

座長 福村 晃夫 (名大)

・多元入力の情報処理

辻 三郎 (阪大)

・知識情報の知的処理

志村 正道 (東工大)

・知識と知識ベース

大須賀節雄 (東大)

・パラレルプロセッシング アンド システム

野口 正一 (東北大)

——休憩 (14:10~14:30)——

テクニカル セッション V (14:30~17:00)

座長 辻 三郎 (阪大)

・ステレオ視における線画の解釈

池田 克夫 (筑波大)

・代数的手法に基づくプログラミング言語の仕様記述と処理系の自動合成

稲垣 康善 (名大)

・ファジイ論理を組み込んだ Prolog-ELF とその応用

石塚 満 (東大)

・生理学モデルの医学知識獲得への応用の試み

小山 照夫 (浜松医大)

・分散処理システムにおける並行処理

上林 弥彦 (九大)

閉会の辞

福村 晃夫

なお、本シンポジウムは、文部省科学研究費特定研究「多元知識情報」研究総括班、日本学術会議情報工学研究連絡委員会、情報処理学会「知識工学と人工知能」研究会の共催によるものです。

昭和 61 年度研究会の新設提案について

昭和 61 年度に研究会の新設を希望する会員は、10月18日までに所定の書式により、研究会新設提案書を調査研究運営委員長に提出してください。

書式その他詳細は学会事務局研究会係までお問合せください。

第 32 回 全国大会 (昭和 61 年前期) の開催について

昭和 61 年春の第 32 回 全国大会は下記により開催されます。一般講演申込みの締切りは 11 月上旬の予定ですので、9 月号本欄にご留意ください。

記

日 時 昭和 61 年 3 月 11 日(火), 12 日(水), 13 日(木)
会 場 学習院大学 (東京都豊島区目白)

「マルチメディア通信と情報サービス —VAN を中心として—」 シンポジウム開催について

進展の著しいニューメディア/マルチメディア技術を包含した高度の分散処理技術は、新しい情報通信サービス VAN の構築に重要な役割を果たすと考えられる。本シンポジウムでは、このような観点からマルチメディア通信技術、情報サービス技術の現状を総括すると共に、将来を展望し技術課題を探ることとしたい。多数の方々の参加をお願いします。

日 時 昭和 60 年 10 月 30 日 (水) 9:00~17:00

場 所 機械振興会館大ホール (地下 2 階)

参加費 正会員 6,000 円, 学生会員 3,000 円, 非会員 9,000 円
(論文集のみ 2,500 円, 送料 300 円)

申込締切 昭和 60 年 10 月 7 日 (月)

申込先 下記参加申込書により情報処理学会シンポジウム係に申込みください。

プログラム (予定)

基調講演・招待講演

セッション 1 VAN の動向と諸問題

セッション 2 マルチメディア通信処理サービス

セッション 3 大規模 VAN (その 1)

セッション 4 大規模 VAN (その 2)

セッション 5 業種 VAN

「マルチメディア通信と情報サービス」シンポジウム

参加申込書

昭和 60 年 月 日
申込者 氏名 _____ 会員 No. _____
連絡先 (住所, 会社名, 所属) 〒 _____
Tel. _____

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費 (該当するものを○印でかこむ)。

正会員, 賛助会員 6,000 円 非会員 9,000 円 学生会員 3,000 円 論文集のみ

○送金方法

_____ 円を _____ 月 _____ 日送金します (金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ)。

a. 現金書留

b. 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945

富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門支店 0000608

三井銀行本店 4298739

住友銀行虎ノ門支店 10899

三和銀行虎ノ門東京公務部 21409

名義人 東京都港区芝公園 3-5-8 社団法人 情報処理学会

請求書類の必要な方はお申出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通 (No.)
請求先 _____

注) 申込書は 1 枚 1 人として下さい (この用紙のコピーで可)。

支 部 だ よ り

関 西 支 部

支 部 連 合 大 会 案 内

—昭和 60 年電気関係学会関西支部連合大会講演募集—

情報処理学会関西支部では、従来の支部大会に加えて、下記の次第で電気関係学会関西支部連合大会に協賛し、一般会員よりの自由な研究発表と学術交流の機会を得たいと考えています。奮ってご参加ください。

期 日 昭和 60 年 11 月 23 日(祝), 24 日(日)

会 場 関西大学 (吹田市山手町 3-3-35)

講演形式 シンポジウムおよび一般講演、講演は 1 人 1 件に限る。

講演申込金 正会員 2,500 円, 学生会員 2,000 円 (講演申込料: 1,500 円, 参加費: 正会員 1,000 円, 学生会員 500 円を含む)。講演者には大会プログラム, 参加章および講演論文集別刷 50 部を進呈する。有料別刷は取り扱わない。

申込方法 所定の講演申込書およびそのコピー 2 部 (B5 判) に原稿を添え、下記に申し込むと同時に、講演申込金を所定の振替用紙により、通信欄に論文題目など必要事項を記入のうえ送金のこと。論文不採択の場合は返金する。

また、「講演申込書」「原稿用紙」「振替用紙」などは、下記要領の請求票と返信用切手 170 円 (2 件以上の場合は 1 件増すごとに 70 円増) 同封のうえご請求ください。なお、請求票の送り先欄は正確に記入のこと。

申込締切 8 月 26 日(月) 必着

申 込 先 〒564 吹田市山手町 3-3-35 関西大学工学部内
昭和 60 年電気関係学会関西支部連合大会実行委員会
Tel. 06 (388) 1121 (内線 5873) (振替口座番号 大阪 2-45075)

請 求 書		講演申込書等一式を		組 請 求 し ま す	
(ふりがな) 氏 名		勤務先		電 話	
先	<input type="checkbox"/>	所	見	本	殿
り	<input type="checkbox"/>				
送	<input type="checkbox"/>				
	<input type="checkbox"/>				
氏 名・姓					

15 cm

5 cm

セ ミ ナ ー 開 催 に つ い て

—最近のコンピュータグラフィックスとその応用—

最近のコンピュータグラフィックスの長足の進歩に対応して、その基礎理論から応用例までを解説するセミナーを開催いたします。多数の方々のご参加をお願いいたします。

期 日 昭和 60 年 10 月 3 日(木), 4 日(金) 10:00~17:00
会 場 (財)関西情報センター会議室
参加費(予価) 会員 14,000 円, 非会員 18,000 円, 学生 7,000円, 定員 100 名
申込方法 「はがき」に「支部セミナー申込」と書き, ①勤務先, ②部課, 役職, ③氏名,
④住所 (Tel.) を記入して下記までお申し込みください。
申 込 先 〒530 大阪市北区中之島 5-3-51 大阪国際貿易センタービル 4F
(財)関西情報センター気付 情報処理学会関西支部 Tel. 06 (448) 6630 (直)

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

- ・ハイテク時代を担うコンピュータグラフィックスおよび CAD/CAM
長江 貞彦 (大阪府立大)
- ・3次元 CAD/CAM におけるコンピュータグラフィックスの活用
西岡 郁夫 (シャープ)
- ・プラスチック射出成型における CAE システム 田中 豊喜 (東レ)
- ・シミュレーション技術とコンピュータグラフィックス
中前栄八郎 (広島大, 予定)
- ・並列処理形コンピュータグラフィックシステム 大村 皓一 (阪大)
- ・画像処理とコンピュータグラフィックス 美濃 導彦 (京大)
- ・グラフィック・ソフトウェアの標準化の動向 服部 幸英 (日本鋼管)
- ・西陣織における CAD/CAM 野中 明 (柴紋紋様技研)
- ・核融合装置における図形処理 伊尾木公裕 (三菱原子力)
- ・分子軌道表示による化学反応のアニメーション
小出 昭夫, 土井 章夫 (日本 IBM)

九州支部

支部大会案内

——電気関係学会九州支部第 38 回 連合大会——

期 日 昭和 60 年 10 月 31 日(木), 11 月 1 日(金)
会 場 大分大学工学部 (大分市大字且野原 700)
特別講演 10 月 31 日(木) 15:30~17:00
最近の半導体技術 成瀬 邦彦 (東芝)
一般講演申込 前号本欄参照
懇 親 会 10 月 31 日(木) 18:00~20:00 会費 4,000 円
農協会館 (講演会場よりバス運行)
参加希望者は 9 月 30 日(月)までに代金を添えてお申し込みください。

論文集および懇親会申込先

〒812 福岡市東区箱崎 6-10-1
九州大学工学部電気工学教室内 電気関係学会九州支部連合会
Tel. 092 (641) 1101 (内線 5300) (振替口座番号 福岡 8-33001)

「情報処理九州シンポジウム」開催について

知識情報処理に関する総合的なシンポジウムを開催いたします。多数ご参加くださいますようお願いいたします。会員以外の方々の参加も歓迎します。詳細は前号本欄を参照ください。

日 時 昭和 60 年 8 月 30 日(金) 10:00~16:30
会 場 福岡市中央区天神 2 丁目 12-1 天神ビル 11 階特別ホール
参加費 会員 3,500 円 (学生 1,500 円), 非会員 4,500 円 (学生 2,500 円)

中 部 支 部

講 演 会 (その 1)

期 日 昭和 60 年 8 月 21 日(水) 14:00~16:00
会 場 (株)沖テクノシステムズラボラトリ(名古屋市千種区内山 3-8-10, 今池桜通り
南西角 安田生命ビル 7 階)
演 題 知識情報処理と第 5 世代時代への展望 山本 正隆 (沖電気)
参加費 無料 (参加資格は問いません)
連絡先 (株)沖テクノシステムズラボラトリ研究部 西垣 秀樹 Tel. 052 (733) 7271

講 演 会 (その 2)

期 日 昭和 60 年 9 月 13 日(金) 13:00~15:00
会 場 静岡大学工学部 情 2 講義室 (浜松市城北 3-5-1)
演 題 UNIX の特徴と将来の展望 松井 純 (東工大)
参加費 無料 (参加資格は問いません)
問合せ先 名古屋大学工学部 情報工学教室内
情報処理学会中部支部 Tel. 052 (781) 5111 (内線 5803)

支 部 大 会 案 内

—昭和 60 年度電気関係学会東海支部連合大会—

期 日 昭和 60 年 10 月 1 日(火), 2 日(水)
会 場 愛知工業大学 (豊田市八草町八千草 1247)
特別講演 中国における教育事情 (1 日 午後) 後藤 淳 (愛工大)

シンポジウム (依頼)

・可変速ドライブにおける制御技術の動向	座長 松井 信行 (名工大)
・電磁環境の生成と効果——最近の諸問題——	座長 赤尾 保男 (愛工大)
・コンピュータ・グラフィックスの最新手法と応用	座長 鳥脇純一郎 (名 大)
・デジタル信号処理	座長 鈴木 久喜 (静 大)
・エキスパートシステム基礎と応用	座長 北橋 忠宏 (豊技大)

- 一般参加費** 正会員 500 円 非会員 800 円 学生無料
大会当日会場にて受付けます。なお、論文集購入者は参加費不要。
- 論文集予約** 8月31日(土)までに代金(予約価 2,000円(当日価格 2,200円))を添えて
下記へ申し込みください。論文集は大会当日お渡しします。郵送希望者は1部
につき送料700円を加算のこと。発送は大会終了後となります。
- 懇親会** 10月1日(火)夕刻 愛知工大愛知会館 会費 3,000円(学生 1,500円)
参加希望者は当日総合受付にてお申し込みください。
- 申込先** 〒464 名古屋市千種区不老町 名古屋大学工学部電気系教室内
電気関係学会東海支部連合大会実行委員会 Tel. 052 (781) 2222

本会協賛等の行事案内

AVIRG-SMC サマーセミナー「知的情報処理の展望」

昭和60年8月30日(金) 東京大学生産技術研究所

第14回 機械技術研究所研究講演会「生産におけるソフトウェア技術—機械工業の
高度化をめざして」

昭和60年11月11日(月) 石垣記念ホール

システム制御チュートリアル講座「制御工学へのガイドライン—最新の制御理論を
鳥瞰する」

昭和60年11月13日(水), 20日(水), 27日(水), 12月3日(火), 11日(水)

大阪科学技術センター

第2回 セミナキャンプ「無人生産システム構築のためのシミュレーションテクニックと
その評価法」

昭和60年11月15日(金), 16日(土)

ファナック(株)富士コンプレックス, ホテル・マウント富士

日本機械学会講習会「知的機械の基礎と応用」

昭和60年11月21日(木), 22日(金) 食糧会館

精機学会講習会「メカトロニクス技術者のためのデジタル信号処理技術—FFT アナ
ライザの有効な活用法(実演付)」

昭和61年1月17日(金) 光陽社ビル講堂

(詳細は本号会議案内欄を参照のこと)

欧文誌の原稿募集について

本学会欧文誌“Journal of Information Processing”に論文発表を希望される会員は、下記を参照のうえ原稿を寄せられるようご案内いたします。

1. 欧文誌発行の目的

わが国の情報処理の研究水準向上のため、情報処理に関する諸研究の国際交流をはかる。

2. 発行計画

(1) 70 ページ×4 回/年=280 ページ, A 4 判

(2) 純学術研究発表誌とし, Paper と Short Note を募集する。

(i) Paper (原則として刷上り 8 ページ以内)——「情報処理」掲載の論文と同じ査読規準に基づき, 欧文誌編集委員会で採録を認められた欧文論文。

(ii) Short Note (2 ページ以内に限る)——「情報処理」掲載のショート・ノートに準じて, 採録を認められた欧文による小論文

3. 「情報処理」との関連

Paper と Short Note の和文アブストラクトを「情報処理」に掲載する。

4. 論文原稿の書き方

(1) 用紙は A 4 判 (21 cm×30 cm) の白紙を使い, 1 行 65 ストローク, ダブルスペースで上下 3 cm (強) の余白を残し, パラグラフは初めを 5~6 字分あける。この様式で原稿をタイプした場合 (図表なしで) 24 枚で, 欧文誌刷上り 8 ページに当る。なお文章中指定のない場合の記号は立体, 数式中の記号は (イタリック) となる。

(2) 査読の都合上, タイトル, 氏名, 所属およびアブストラクトを和英両語で別紙に記述する。なお和文アブストラクトは英文アブストラクトの邦訳とする。

(i) Paper のアブストラクト——200 語以内

(ii) Short Note のアブストラクト——50 語以内

(3) 図表 (写真を含む) は, 完成図 (そのまま縮小製版できるもので, 縮版した場合の希望のできあがり寸法を指定する。なお, 文字は縮版のさいも読める大きさに書く。) を本文と別にし, 説明文は別紙にまとめてタイプし, 本文の末尾につける。ただし原稿中に図表のそう入場所を指定する。

(4) 寄稿のさいキーワード表を添付する。(用紙は欧文誌係にご請求ください。)

5. 原稿の送付

(1) コピー 4 部を送付する。

(2) 送付先: 情報処理学会「欧文誌係」

〒105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 号

6. 別刷料

下記の通り別刷 100 部を印刷実費の一部として, ご負担いただきます。

ページ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
別刷料	5,000	10,000	15,000	20,000	25,000	30,000	35,000	40,000	55,000	70,000